

第3回木材利用に係る環境貢献度の「見える化」検討会の概要について

1 日 時 平成20年12月18日（木）14：00～16：00

2 場 所 農林水産省仮設庁舎会議室

3 議 事 木材利用に係る環境貢献度の「見える化」について（中間とりまとめ案）

4 出席者の主な発言内容

- ・ 「省エネ資材に関する「見える化」」を行うためのデフォルト値設定にあたっては、地域材利用の促進を図る観点から、都道府県独自でのデフォルト値設定を認めてはどうか。
- ・ CO₂排出量を評価する表示を行うにあたって、製材工場等の木材業界がバイオマスエネルギーの導入等による省エネ努力が反映されるような工夫が必要である。
- ・ 廃棄段階について、サーマルリサイクルにおいてもCO₂排出削減に役に立つ場合とそうでない場合がありえることをどのように取り扱うかを明確にする必要がある。
- ・ リサイクル資材の典型であるパーティクルボード等についてもデフォルト値を設定してはどうか。
- ・ 木材利用に係る環境貢献度の「見える化」を行うにあたっては、適切に管理された森林との連携が重要。
- ・ 木材利用に係る環境貢献度の「見える化」については、他の「見える化」に係る制度との整合性を図る必要がある。